Kodak EasyShare Z740
ズームデジタルカメラ

ユーザーガイド

www.kodak.co.jp

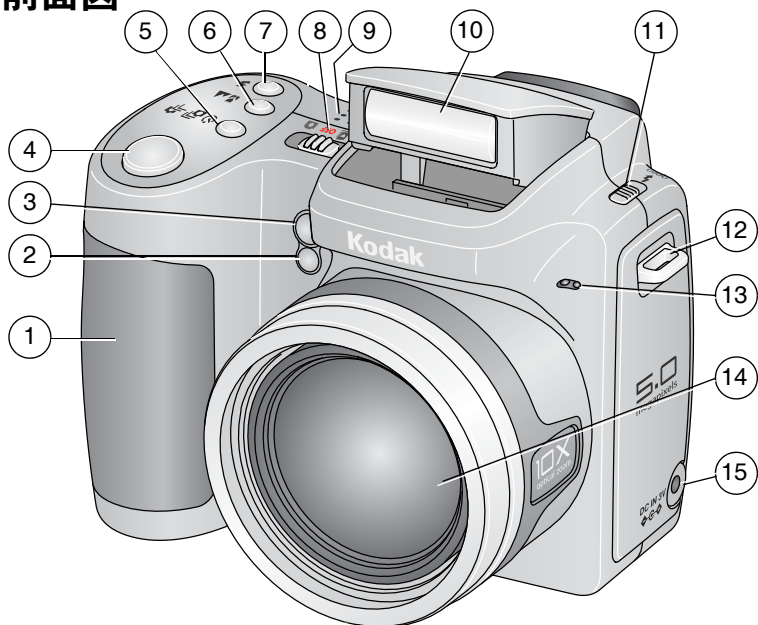
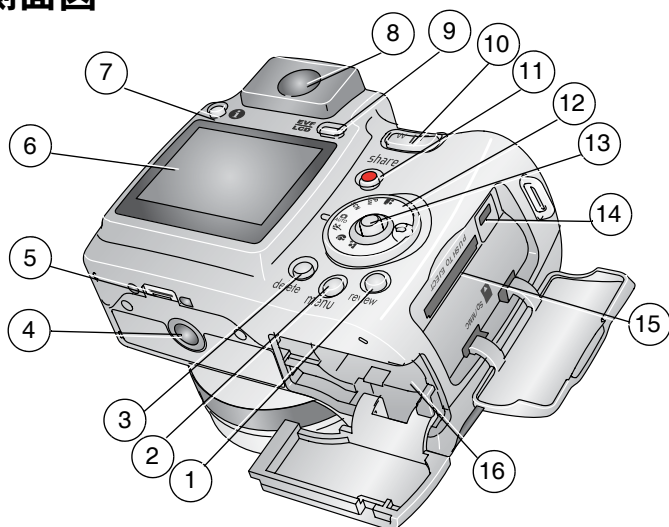
カメラに関するヘルプ：www.kodak.co.jp/go/service

Eastman Kodak Company
Rochester, New York 14650
© Eastman Kodak Company, 2004

すべての画面はハメコミ式合成です。

Kodak、 EasyShare および RETINAR は Eastman Kodak Company の商標です。

P/N 4J1865_ja

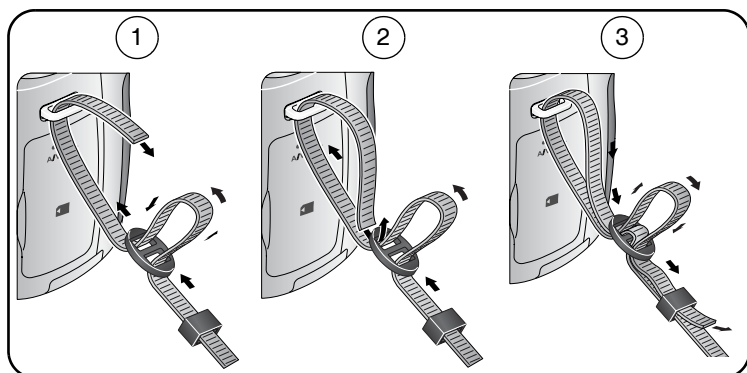
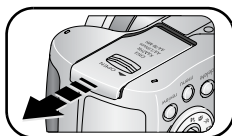
前面図

1	グリップ	9	スピーカー
2	フラッシュセンサー	10	フラッシュ
3	補助光、セルフタイマーライト	11	オープンフラッシュスイッチ
4	シャッターボタン	12	ネックストラップ取り付け部
5	セルフタイマー／連写ボタン	13	マイクロフォン
6	マクロ／遠景ボタン	14	レンズ
7	フラッシュボタン	15	AC アダプター**（別売）**用 DC 入力（3V）
8	電源／お気に入りスイッチ		

側面図

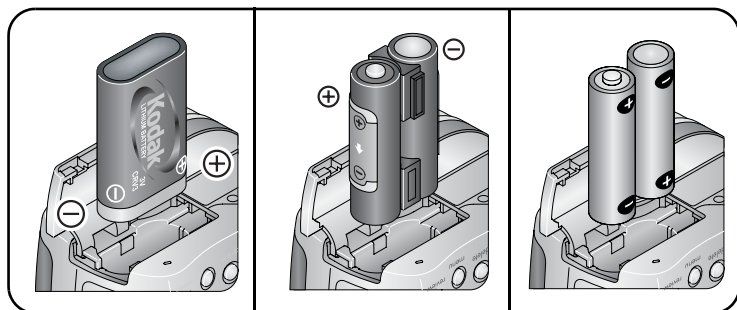
1 Review（再生）ボタン
2 Menu（メニュー）ボタン
3 Delete（削除）ボタン
4 三脚ねじ穴
5 ドックコネクタ
6 液晶モニター
7 情報ボタン
8 EVF（電子ビューファインダー）
9 EVF／LCD 切替ボタン
10 ズーム（広角／望遠）レバー
11 Share（シェア／共有）ボタン
12 モードダイヤル
13 ジョイスティック／OK ボタン
14 USB、A/V 出力
15 SD または MMC カード **（別売）** 用スロット
16 電池挿入口

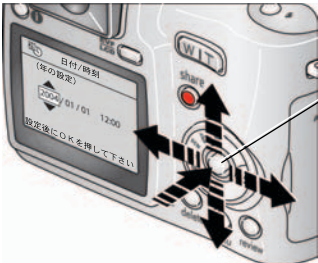
目次

1 カメラのセットアップ

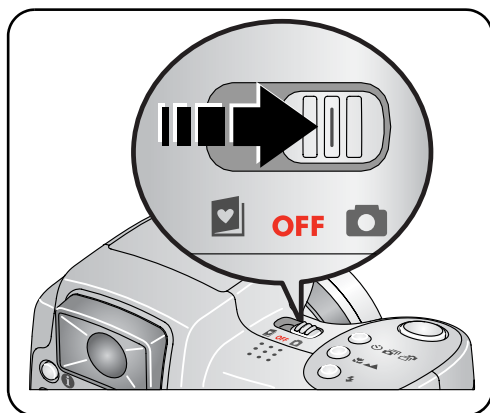
レンズキャップの取り付け

ネックストラップの取り付け

電池の装着

1 電池カバーを開きます。

2 電池を装着してから、電池カバーを閉じます。

CRV3 リチウム電池（非充電式）

Kodakニッケル水素充電式電池パック（KAA2HR）

単三形リチウム／ニッケル水素充電式電池（× 2）

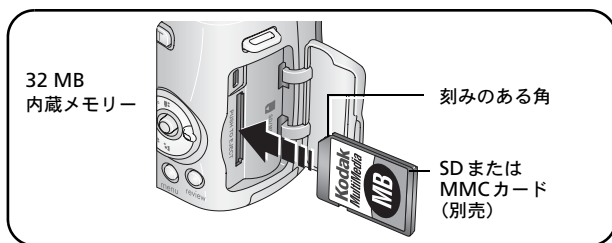
電池を交換する方法と長持ちさせる方法については、60 ページを参照してください。

カメラの電源のオン

日付と時刻の初期設定

2回目以降の日付と時刻、言語の設定

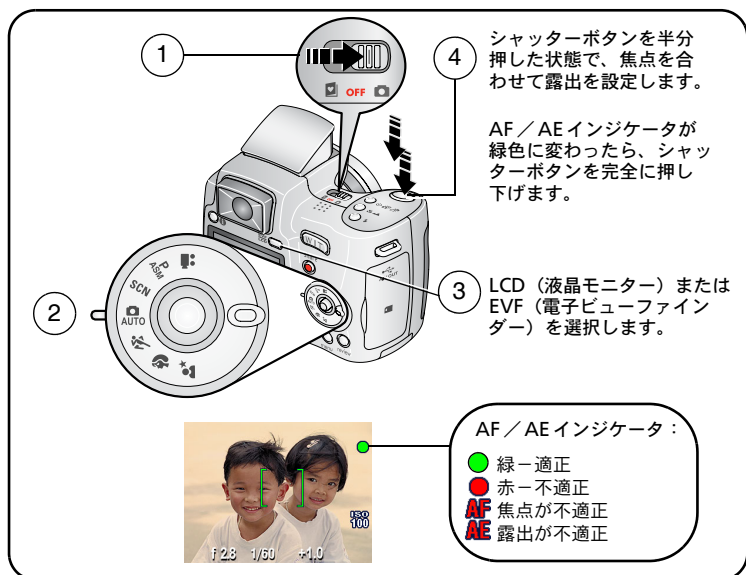
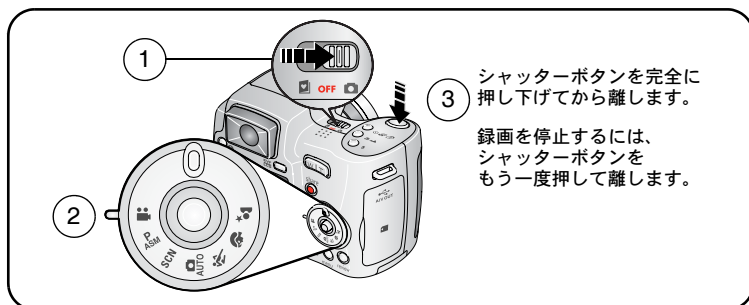
SD または MMC カードへの画像の保管

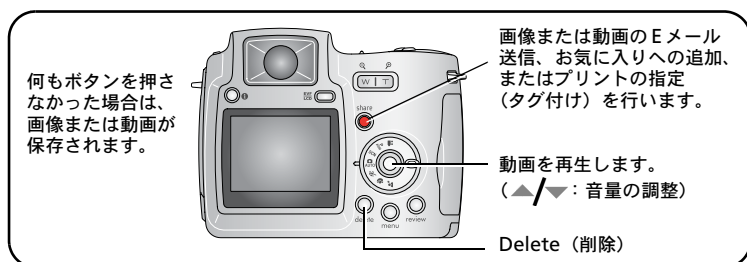
カメラには 32 MB の内蔵メモリーが搭載されています。SD または MMC カードを購入すれば、さらに多くの画像や動画を保管できます。

注： SD カードには SD ロゴが付いていることを確認してください（SD ロゴは、SD Card Association の商標です）。初めてカードを使用する場合は、撮影する前にカードをフォーマットしてください（34 ページを参照）。

注意：
カードは正しい向きで挿入してください。無理に挿入すると破損する場合があります。カードをアクセスしているときはカードの挿入または取り外しを行わないでください。画像、カード、またはカメラが破損する場合があります。

保管可能容量については、57 ページを参照してください。

2 画像と動画の撮影

画像の撮影

動画の撮影

撮影した画像または動画のクイックビュー

画像または動画を撮影した後に、カメラの液晶モニターまたは EVF にクイックビューが約 5 秒間表示されます。

画像や動画を再生する方法については、10 ページを参照してください。

オートフォーカスフレーミングマーク（画像）の使用

カメラの液晶モニターまたは EVF をビューファインダーとして使用している場合は、カメラの焦点が合っている場所を示すフレーミングマークが表示されます。カメラは前にある被写体に焦点を合わせます。被写体が画面の中心にない場合も同じです。

1 シャッターボタンを**半分押した状態**にします。

焦点が合うとフレーミングマークが緑色に変わります。

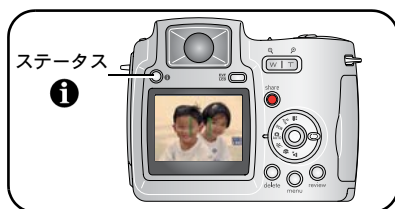
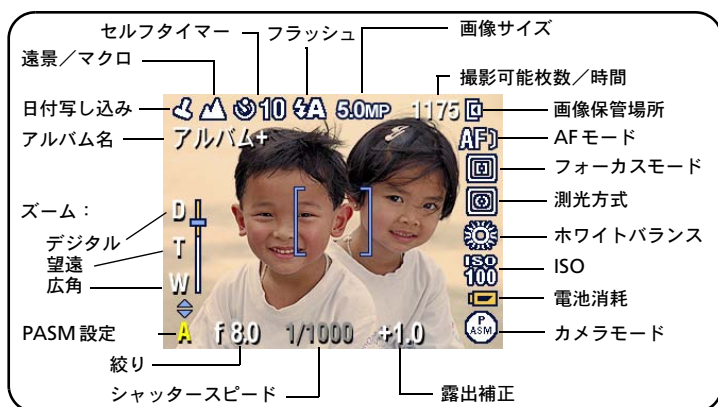
次の位置で焦点が合います。		
フレーミングマーク	[ ]	中央
	[ ]	中央広域
	[ ]	右／左
	[ ]	中央右／左
	[ ][ ]	左右 2ヶ所

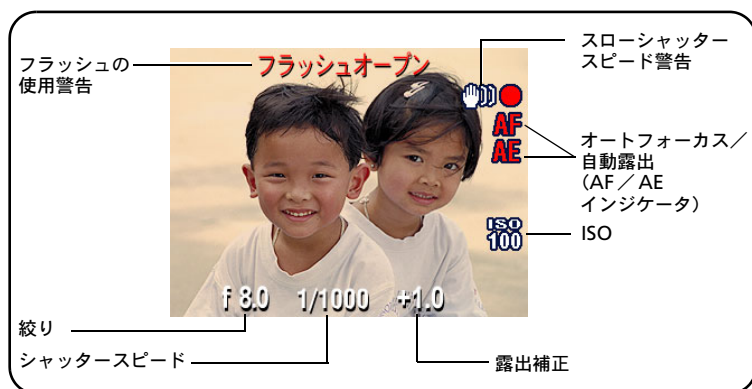
2 目的の被写体にカメラの焦点が合わない場合（またはフレーミングマークが消えている場合）は、シャッターボタンを離し、再度画面の構図を決めます。

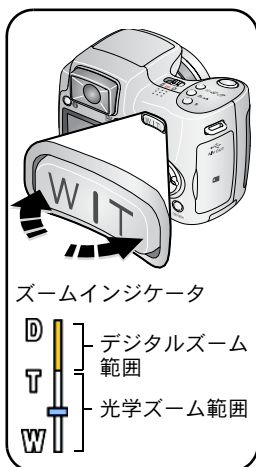
3 シャッターボタンを**完全に押し下げて**撮影します。

注： フレーミングマークは遠景または動画モードでは表示されません。オートフォーカス（30 ページ）を使用して**センターAFを選択すると**フレーミングマークは中央広域に固定されます。

カメラ設定／画像設定の確認

カメラアイコンと画像アイコンのオン／オフを切り替えるには、ステータス ボタンを押します。

撮影モード

撮影モード－シャッターボタンを半分押した状態

光学ズームの使用

光学ズームを使用すると、被写体を 10 倍まで拡大できます。光学ズームは、レンズと被写体との距離が 60 cm 以上離れている場合、または
マクロモードで 13 cm 以上離れている場合に効果的です。光学ズームは、動画を録画する前に変更できますが、録画中には変更できません。

1 ビューファインダーまたはカメラの液晶モニターを使用して、被写体を捉えます
2 拡大するには望遠（T）を押します。縮小するには広角（W）を押します。

   ズームインジケータはズーム状況を示します。

3 画像または動画を撮影します。

デジタルズームの使用

デジタルズームを使用すると、任意の静止画モードで、光学ズームより
さらに5倍まで拡大することができます。

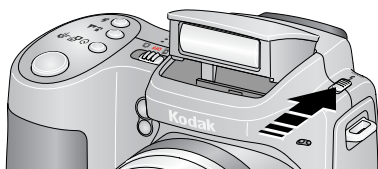
1 望遠（T）ボタンを押して、光学ズームの限度（10倍）まで
拡大します。ボタンを離してからもう一度押します。

ズームインジケータはズーム状況を示します。

2 画像または動画を撮影します。

注： デジタルズームは動画の録画には使用できません。デジタルズーム
を使用すると、画質が低下する場合があります。画質が 10 × 15 cm
のプリントで適切な画質を得られる限度に達すると、ズームインジ
ケータ上の青色のスライダが一時停止し、次に赤色に変わります。

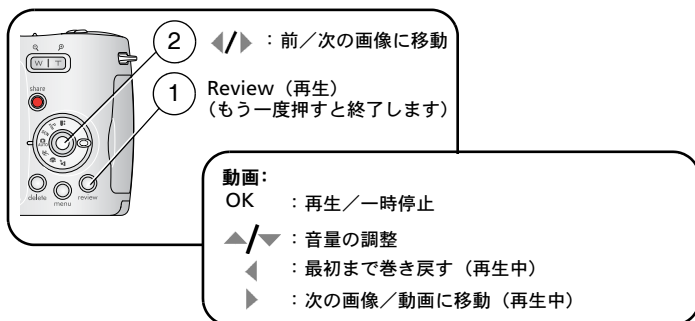
フリップアップ式フラッシュの使用

夜間、室内、または屋外の暗い場所で撮影する場合は、フラッシュを使
用します。被写体がフラッシュの有効範囲内に入るようにしてください。

フラッシュを使用したり
フラッシュモードを変更
するには、フラッシュ
ユニットを開く必要が
あります。

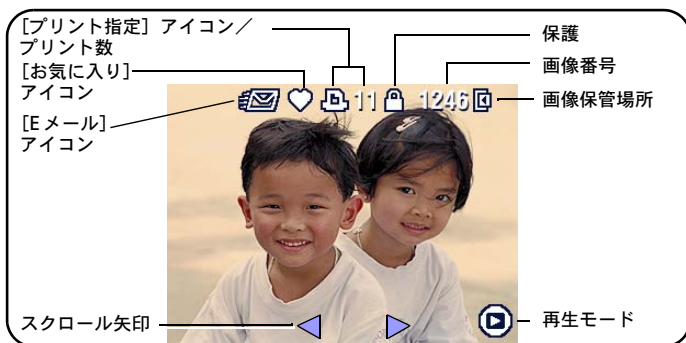
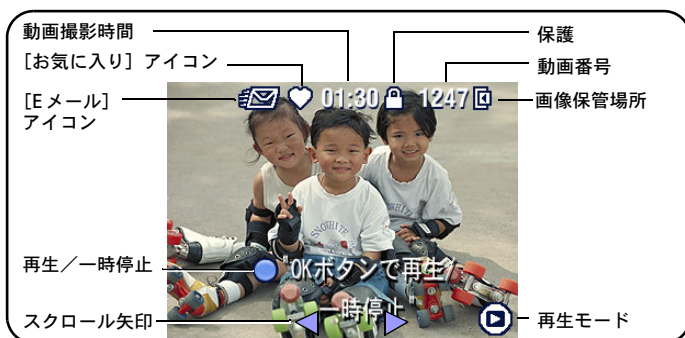
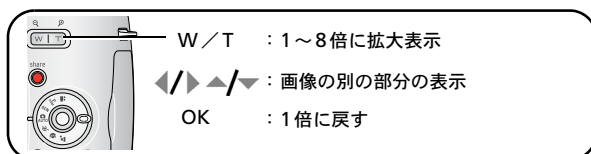
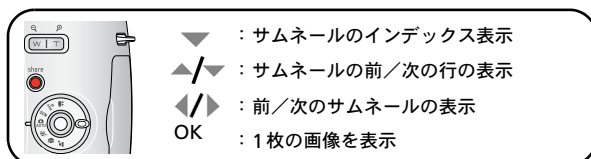
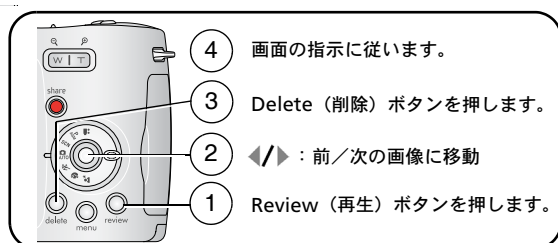
フラッシュ設定を変更する方法については23 ページを参照してください。
フラッシュをオフにするには、フラッシュユニットを閉じます。

フラッシュ有効範囲	
ズームの位置	**フラッシュ範囲**
広角	0.6 ～ 4.9 m（ISO 140）
望遠	2.0 ～ 3.7 m（ISO 140）

画像と動画の再生

Review（再生）ボタンを押すと、撮影した画像や動画を表示したり操作することができます。

電池を節約するために、別売の Kodak EasyShare ドックまたは Kodak 3V AC アダプターを使用してください（www.kodak.co.jp を参照してください）。

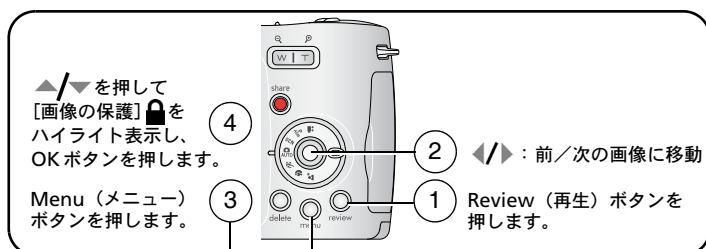
注： 最高画質（3:2）で撮影された画像は、3:2 の縦横比で表示され、液晶モニターの上部**が黒く**表示されます。また、動画の撮影時間はカメラの液晶モニターの上部に表示されます

再生でのアイコン表示

再生中の画像の拡大

再生中のインデックス表示（サムネール）

画像と動画の削除

[この画像] または [この動画] — 表示されている画像または動画を削除します。

［終了］—［削除］画面を終了します。

［全て］— 現在の保管場所からすべての画像と動画を削除します。

注： 保護された画像や動画を削除するには、まず保護を解除する必要があります。

画像と動画の保護

画像または動画が保護され、削除できなくなります。保護された画像または動画の横に画像の保護アイコン が表示されます。

Menu（メニュー）ボタンを押してメニューを終了します。

注意：

内蔵メモリーまたはSDまたはMMCカードをフォーマットすると、保護されたものを含むすべての画像と動画が削除されます（内蔵メモリーをフォーマットすると、Eメールアドレス、アルバム名、およびお気に入りも削除されます。それらを復元する方法については、EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください）。

3 画像の転送およびプリント

注意：

Kodak EasyShare ソフトウェアは、カメラまたはドック（別売）をコンピュータに接続する前にインストールしてください。接続してからインストールすると、ソフトウェアが正しくインストールされない場合があります。

コンピュータのシステム必要条件

Windows OS

- Windows 98、98SE、ME、2000 SP1、または XP OS
- Internet Explorer 5.01 以上
- 233 MHz 以上のプロセッサー
- 64 MB 以上の RAM（Windows XP OS の場合は 128 MB 以上の RAM）
- 200 MB 以上のハードディスクの空き容量
- CD-ROM ドライブ
- USB ポート
- カラーモニター、800 × 600 ピクセル（16 ビットまたは 24 ビットを推奨）

Macintosh

- Power Mac G3、G4、G5、G4 Cube、iMac、PowerBook G3、G4、または iBook コンピュータ
- Mac OS X バージョン 10.2.3、10.3
- Safari 1.0 以上
- 128 MB 以上の RAM
- 200 MB 以上のハードディスクの空き容量
- CD-ROM ドライブ
- USB ポート
- カラーモニター、1024 × 768 ピクセル（数千色または数百万色を推奨）

ソフトウェアのインストール

注意：
Kodak EasyShare ソフトウェアは、カメラまたはドック（別売）をコンピュータに接続する前にインストールしてください。接続してからインストールすると、ソフトウェアが正しくインストールされない場合があります。

1 コンピュータで開いているすべてのアプリケーション（ウイルス対策ソフトウェアを含む）を閉じます。

2 Kodak EasyShare ソフトウェア CD を CD-ROM ドライブに挿入します。

3 ソフトウェアをインストールします。

Windows OS — インストールウィンドウが表示されない場合は、［スタート］ボタンメニューの［ファイル名を指定して実行］をクリックし、「**d:¥setup.exe**」と入力します。**d** は CD-ROM ドライブのドライブ文字です。

Mac OS X — デスクトップの CD アイコンをダブルクリックし、インストールアイコンをクリックします。

4 画面の指示に従ってソフトウェアをインストールします。

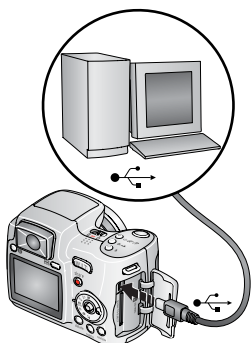
Windows OS — アプリケーションを自動的にインストールする場合は、［標準］を選択します。インストールするアプリケーションを選択する場合は、［カスタム］を選択します。

Mac OS X — 画面の指示に従います。

注： ユーザー登録画面が表示されたら、登録を行ってください。この画面でカメラのユーザー登録もできます。ユーザー登録すると、ソフトウェアのアップグレード情報等が得られます。ユーザー登録を行うには、インターネットに接続されている必要があります。後で登録する場合は www.kodak.co.jp/go/register にアクセスしてください。

5 コンピュータを再起動するように要求されたら、コンピュータを再起動します。ウイルス対策ソフトウェアをオフにした場合はオンに戻します。詳しくは、ウイルス対策ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

Kodak EasyShare ソフトウェア CD に収録されているソフトウェアアプリケーションについての情報を参照するには、Kodak EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

USB ケーブルを使用した画像の転送

1 カメラの電源をオフにします。
2 USB ケーブルの⇔という表示の付いた端をコンピュータの USB ポートに差し込みます。詳しくは、コンピュータの取扱説明書を参照してください。
3 USB ケーブルのもう一方の端をカメラの USB ポートに差し込みます。ケーブルの矢印アイコンが見える向きに差し込みます。
4 カメラの電源をオンにします。

Kodak EasyShare ソフトウェアがコンピュータ上で起動されます。ソフトウェアの指示に従って、転送プロセスを実行します。

注： 接続に関するオンラインチュートリアルについては、www.kodak.co.jp を参照してください。

転送に使用可能なその他の製品

画像および動画の転送には、Kodak EasyShare プリンタードックなどの Kodak 製品も使用できます。

- Kodak EasyShare カメラドック、Kodak EasyShare プリンタードック（「ドックの互換性」（18 ページ）を参照）

詳しくは、Kodak 製品取扱店または www.kodak.co.jp でご確認ください。

画像のプリント

Kodak EasyShare プリンタードックを使用したプリント

カメラを Kodak EasyShare プリンタードックに装着すれば、コンピュータを使用せずにプリントできます。詳しくは、Kodak 製品取扱店または www.kodak.co.jp でご確認ください。

PictBridge プリンターを使用したダイレクトプリント

このカメラは PictBridge テクノロジを採用しており、PictBridge 対応プリンターでのダイレクトプリントが可能です。ダイレクトプリントには次のものが必要です。

- フル充電済みのカメラ、または Kodak 3V AC アダプター（別売）に接続したカメラ
- PictBridge プリンター
- カメラ付属の USB ケーブル

PictBridge プリンターへのカメラの接続

1 カメラとプリンターの電源をオフにします。

2 オプション：Kodak 3V AC アダプター（別売）を使用する場合は、カメラに接続してから電気コンセントに差し込みます。

重要： Kodak EasyShare カメラドックまたはプリンタードックに付属の AC アダプターは使用しないでください。

3 適切な USB ケーブルを使用してカメラとプリンターを接続します（詳しくは、プリンターの取扱説明書を参照してください。ケーブルは www.kodak.co.jp で注文できます）。

PictBridge プリンターからのプリント

1 プリンターの電源をオンにします。カメラの電源をオンにします。

PictBridge ロゴが表示された後、現在の画像とメニューが表示されます（画像が見つからない場合はそのことを知らせるメッセージが表示されます）。メニュー表示が消えた場合は、いずれかのボタンを押すと再び表示されます。

2 ▲/▼ を押してプリントオプションを選択し、OK ボタンを押します。

現在の画像 — ◀/▶ を押して画像を選択します。プリント数を選択します。

指定した画像 — お使いのプリンターがこの機能に対応している場合は、プリントする画像をタグ付けして、プリントサイズを選択します。

インデックスプリント — すべての画像のサムネールをプリントします。インデックスプリントには用紙が複数枚必要になります。お使いのプリンターがこの機能に対応している場合は、プリントサイズを選択します。

全ての画像 — 内蔵メモリー、カード、またはお気に入りに保管されているすべての画像をプリントします。プリント数を選択します。

画像保管場所 — 内蔵メモリー、カード、またはお気に入りにアクセスします。

注： ダイレクトプリントでは、画像はコンピュータまたはプリンターに転送または保存されません。画像をコンピュータに転送する方法については、13 ページを参照してください。お気に入りモードでは、現在のお気に入り画像が表示されます。

PictBridge プリンターからのカメラの取り外し

1 カメラとプリンターの電源をオフにします。

2 カメラとプリンターから USB ケーブルを抜きます。

プリントのオンラインオーダー

Kodak オンラインフォトサービス（www.kodak.co.jp を参照）を利用すると次のような処理を簡単に行うことができます。

- **画像のアップロード**
- 画像の編集、拡張、枠の追加
- 画像の保管、家族や友人との共有
- 画像のプリントオーダー

コンピュータに保存されている画像のプリント

コンピュータに保存されている画像をプリントする場合は、Kodak EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

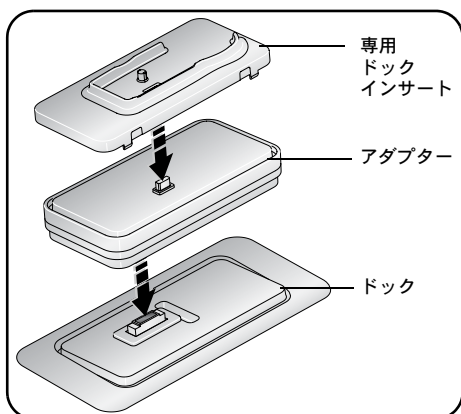
SD または MMC カードに保存されている画像のプリント

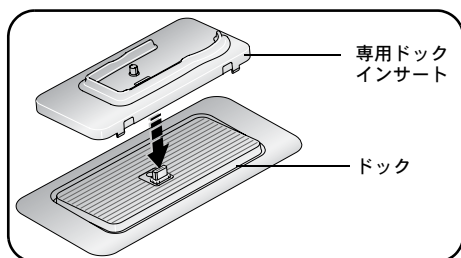
- SD/MMC スロット付きのプリンターにカードを挿入して、タグ付けされた画像を自動的にプリントすることもできます。詳しくは、プリンターの取扱説明書を参照してください。

- 最寄りの写真店にカードを持って行き、プリントをオーダーすることもできます。

ドックの互換性

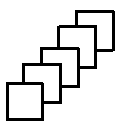
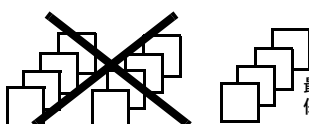
Z740 カメラを次の EasySharе 製品にセットする場合は、アダプターと専用ドックインサートを使用してください。

- プリンタードック（PD-22）
- プリンタードックプラス
- プリンタードック 6000
- カメラドック 6000

注： アダプター使用時はドックの充電ランプは点灯しませんが、 充電は実行されます。

Z740 カメラを上記以外の EasyShare 製品にセットする場合は、専用ドックインサートを使用してください。アダプターは**使用しないでください**。

注： EasyShare Z740 カメラは次のドックには対応していません。

- EasyShare プリンタードック 4000
- EasyShare カメラドック II
- EasyShare LS420、LS443 カメラドック

4 カメラのさまざまな利用方法

セルフタイマーの使用

撮影する前にセルフタイマーを取り消すには、**セルフタイマーのアイコンが消えるまで、セルフタイマーボタンを押します**。

動画の場合も同じ手順ですが、次の点に注意してください。

- モードダイヤルを回して動画の位置にします。
- シャッターボタンは完全に押し下げます。

注： 録画は保管場所がいっぱいになると停止します。

連写の使用

オプション	説明	目的
連写（ファースト）	シャッターボタンが押されている間に最大 5 枚（2 コマ／秒）の画像が撮影されます。 最初の 5 枚の画像が保存されます。	対象のイベントを撮影します。 **例：** 人物がゴルフクラブをスイングするところ。
連写（ラスト）	シャッターボタンが押されている間に最大 30 枚（2 コマ／秒、最大 15 秒間）の画像が撮影されます。 シャッターボタンを離すと、最後に撮影された 4 枚だけが保存されます。 最後の 4 枚の画像が保存されます。	正確なタイミングを捉えづらいイベントの場合に使用します。 **例：** 子供がバースデーケーキのロウソクを吹き消すところ。

1 静止画モードで、連写ボタンを押して設定を選択します。一部の撮影モードでは連写設定が使用できません。

2 シャッターボタンを**半分押した状態**で、焦点を合わせて露出を設定します。

3 シャッターボタンを**完全に押し下げたままにして**撮影します。

シャッターボタンを離すか、制限枚数の画像が撮影されるか、保管場所がいっぱいになると撮影が停止します。

注： クイックビューの表示中は、連写した一連の画像すべてを削除できます。画像を選択して削除するには、再生モード（11 ページを参照）で削除します。

マクロ／遠景撮影

被写体との距離が非常に近い場合または遠い場合は、マクロ／遠景ボタン 🌷/▲▲ を使用して撮影します

1 モードダイヤルを回して使用する撮影モードの位置にします。
2 ステータスバーに🌷または▲▲アイコンが表示されるまで、マクロ／遠景 🌷/▲▲ ボタンを押し続けます。
3 画像を撮影します。

マクロ撮影

非常に近い距離にある被写体を、詳細までシャープに撮影する場合は、マクロ設定🌷を使用します。フラッシュはできるだけ使わずに自然光を利用してください。ズームの位置に応じて撮影距離が自動的に設定されます。

ズームの位置	マクロ撮影距離
広角	0.12 ～ 0.7 m
望遠	1.2 ～ 2.1 m

遠景撮影

遠い距離の風景をシャープに撮影するには、遠景設定▲▲を使用します。この設定の場合は、無限遠オートフォーカスが使用されます。遠景ではオートフォーカスフレーミングマークは使用できません。

スライドショーの実行

スライドショーを使用すると、複数の画像や動画をカメラの液晶モニターに次から次へと表示することができます。テレビまたは他の外部装置でスライドショーを実行する方法については、22 ページを参照してください。電池を節約するために、Kodak 3V AC アダプター（別売）を使用してください （www.kodak.co.jp を参照）。

スライドショーの開始

1 Review（再生）ボタンを押し、Menu（メニュー）ボタンを押します。
2 ▲/▼を押して［スライドショー］をハイライト表示し、OKボタンを押します。
3 ▲/▼を押して［開始］をハイライト表示し、OKボタンを押します。

各画像と動画は、1回ずつ表示されます。

スライドショーを中止するにはOKボタンを押します。

スライドショーの表示間隔の変更

各画像の表示間隔のデフォルト設定は5秒間です。表示間隔を3～60秒に設定することができます。

1 ［スライドショー］メニューで▲/▼を押して［間隔］をハイライト表示し、OKボタンを押します。
2 表示間隔を選択します。

秒数をすばやく**変更**するには▲/▼を押したままにします。

3 OKボタンを押します。

間隔の設定は、設定を変更するまで有効です。

スライドショーの繰り返し再生

［繰り返し］をオンにすると、スライドショーが何度も繰り返されます。

1 ［スライドショー］メニューで▲/▼を押して［繰り返し］をハイライト表示し、OKボタンを押します。
2 ▲/▼を押して［オン］をハイライト表示し、OKボタンを押します。

スライドショーは、OKボタンを押すか、電池が切れるまで繰り返されます。［繰り返し］機能は、設定を変更するまで有効です。

画像と動画のテレビでの表示

オーディオ／ビデオケーブルを使用して、テレビ、コンピュータのモニター、またはビデオ入力のある任意の機器に画像と動画を表示することができます（テレビ画面上では、コンピュータのモニター上やプリント時よりも画質が低下する場合があります）。

注： ［ビデオ出力］の設定（NTSCまたはPAL）が正しいことを確認します（33ページを参照）。スライドショーの実行中にケーブルを抜き差しすると、スライドショーが停止します。

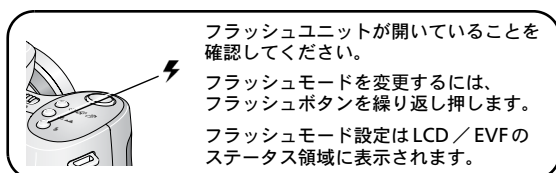
1 付属のオーディオ／ビデオケーブルを、カメラの A/V 出力／ USB ポートからテレビのビデオ入力ポート（黄色）とオーディオ入力ポート（白）に接続します。詳しくは、テレビの取扱説明書を参照してください。

2 画像と動画をテレビに表示します。

フラッシュ設定の変更

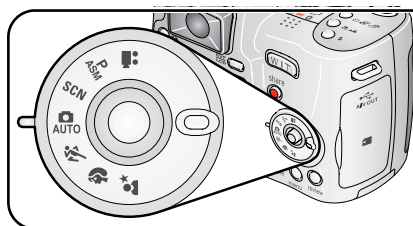
フラッシュユニットが開いていることを確認してください。

フラッシュモードを**変更**するには、フラッシュボタンを繰り返し押します。

フラッシュモード設定は LCD ／ EVF のステータス領域に表示されます。

フラッシュモード	フラッシュの発光
オート発光	フラッシュが必要なライティング条件の場合に自動的に**発光**します。
強制発光	ライティング条件に関係なく、撮影するたびに必ず発光します。被写体が暗い場合や「逆光」の場合（太陽が被写体の後ろにある場合）に使用します。光の弱い場所では、カメラをしっかり構えるか、三脚を使用します。
赤目軽減発光	被写体の目がフラッシュに慣れるように一度**発光**し、撮影時にもう一度**発光**します （赤目軽減が不要な場合は、フラッシュが一度しか**発光**しないことがあります）。
オフ	**発光**しません。

各モードでのフラッシュ設定については、55 ページを参照してください。

注： シャッタースピードの設定が 1/30 以上の場合、フラッシュが発光すると自動的に後幕シンクロがオンになります。後幕シンクロ機能は、S、M モードと夜景ポートレートモードでのみ使用できます。シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光するため、背景に光の軌跡が生じ、被写体の動きを自然にとらえることができます。

撮影モード

被写体と撮影条件に合うモードを選択します。

使用するモード	モードの説明
AUTO オート	通常の撮影に使用し、簡単な操作で優れた画質を実現できます。
スポーツ	動きのある被写体に適しています。速いシャッター速度が使用されます。このモードでは、**F2.8～3.7** マルチ測光、マルチ AF、ISO100 ～ ISO 200 があらかじめ設定されています。
ポートレート	人物の撮影に適しています。被写体がシャープになり、背景がぼんやりします。最高の画質を得るためには、被写体から 2 m 以上離れて、肩より上の部分を撮影します。望遠を使用するとさらに背景がぼんやりします。このモードでは、F2.8 ～ 3.7、マルチ測光、マルチ AF、ISO 100 があらかじめ設定されています。
夜景	夜景をバックにした人物の撮影に適しています。
SCN シーン	14 種類の特定の条件下で、手軽に状況に合わせて撮影を行うことができます（「シーンモード」（25 ページ）を参照）。
動画	音声付きの動画を撮影できます （5 ページを参照）。

シーンモード

1 モードダイヤルを回してシーン SCN の位置にします。

2 ◀/▶ を押して、シーンモードの説明を表示します。

注： ヘルプテキストがオフになっている場合は、OK ボタンを押します。

3 OK ボタンを押して、シーンモードを選択します。

使用する SCN（シーン）モード		モードの説明	プリセット値
	チャイルド	動きのある子供たちの撮影に適しています。	F2.8 ～ 3.7、マルチ測光、マルチ AF、ISO 140
	パーティー	室内での人物の撮影に適しています。赤目を軽減します。	F2.8 ～ 3.7、マルチ測光、マルチ AF、赤目軽減発光、ISO 140
	ビーチ	砂浜での撮影に適しています。	F2.8 ～ 3.7、露出補正 +1、中央重点測光、昼光ホワイトバランス、ISO 100
	フラワー	花や小さい被写体のマクロ撮影に適しています。	F2.8 ～ 3.7、マクロフォーカス、昼光ホワイトバランス、センター AF、中央重点測光、ISO 140
	花火	フラッシュは点灯しません。安定した平らな場所にカメラを置くか、三脚を使用します。	F5.6、露出 2 秒、無限遠フォーカス、中央重点測光、昼光ホワイトバランス、ISO 100
	スノー	雪景色の撮影に適しています。	F2.8 ～ 3.7、露出補正 +1、中央重点測光、マルチ AF、ISO 100
	逆光	逆光（被写体の後ろに光源がある状態）での撮影に適しています。	F2.8 ～ 3.7、マルチ測光、マルチ AF、強制発光、ISO 140
	マクロ	70 cm 未満の接写に適しています。	F2.8 ～ 3.7、マクロフォーカス、中央重点測光、センター AF、ISO 100

使用する SCN（シーン）モード		モードの説明	プリセット値
	夜景ポートレート	夜景または光の弱い状態での人物の撮影時に赤目を軽減します。安定した平らな場所にカメラを置くか、三脚を使用します。	F2.8 ～ 3.7、マルチ測光、マルチ AF、ISO 140
	遠景	遠距離の風景の撮影に適しています。フラッシュは点灯しません。遠景ではオートフォーカスフレーミングマーク（6 ページ）は使用できません。	F2.8 ～ 3.7、無限遠フォーカス、マルチ測光、昼光ホワイトバランス、ISO 100
	夜景	遠距離の夜景の撮影に適しています。フラッシュは点灯しません。安定した平らな場所にカメラを置くか、三脚を使用します。	F2.8 ～ 3.7、無限遠フォーカス、昼光ホワイトバランス、中央重点測光、ISO 100
	マナー / 美術館	結婚式や講義など、静かな場所での使用に適しています。フラッシュと音声は使用できません。	F2.8 ～ 3.7、音声なし、フラッシュなし、マルチ測光、マルチ AF、ISO 100
	書類	書類の撮影に適しています。	F2.8 ～ 3.7、マクロフォーカス、露出補正 +1、中央重点測光、ISO 140
	セルフポートレート	自分自身のクローズアップ撮影に適しています。焦点を適切に合わせ、赤目を軽減します。	F2.8、マクロフォーカス、マルチ測光、マルチ AF、赤目軽減発光、ISO 100

PASM モード

PASM モードについて詳しくは、27 ページを参照してください。

使用するモード	モードの説明
PASM P プログラム	露出補正（カメラに取り込む光の量）を制御します。シャッタースピードと絞り（F 値）は、撮影条件に応じて自動的に設定されます。プログラムモードを使用すると、すべてのメニューオプションを利用したオート撮影を簡単に行うことができます。◀/▶ または ▲/▼ を押して設定を選択します（「P、A、S、M モード」（36 ページ）を参照）。Menu（メニュー）ボタンを押してその他の設定を変更します。
PASM A 絞り優先	絞り、露出補正、および ISO 感度を制御します。絞り優先モードは主に、被写界深度（焦点の合う前後の範囲）を制御する場合に使用します。 注：光学ズームの使用時は、絞り設定に影響を及ぼす場合があります。◀/▶ または ▲/▼ を押して設定を選択します（「P、A、S、M モード」（36 ページ）を参照）。Menu（メニュー）ボタンを押してその他の設定を変更します。
PASM S シャッター優先	シャッタースピード、露出補正、および ISO 感度を制御します。適切な露出に対する絞りが自動的に設定されます。シャッター優先モードは主に、動きのある被写体の撮影時にぼけるのを防ぐために使用します。シャッタースピードが遅い場合は、カメラが動かないように三脚を使用してください。◀/▶ または ▲/▼ を押して設定を選択します（「P、A、S、M モード」（36 ページ）を参照）。Menu（メニュー）ボタンを押してその他の設定を変更します。
PASM M マニュアル	絞り、シャッタースピード、および ISO 感度を任意に設定可能です。露出補正は、適切な露出を実現するために必要な絞りとシャッタースピードの組み合わせを示す、露出メーターの役目を果たします。シャッタースピードが遅い場合は、カメラが動かないように三脚を使用してください。◀/▶ または ▲/▼ を押して設定を選択します（「P、A、S、M モード」（36 ページ）を参照）。Menu（メニュー）ボタンを押してその他の設定を変更します。

撮影設定の変更

撮影するときの設定を変更することができます。

1 Menu（メニュー）ボタンを押します （モードによっては使用できない設定もあります）。

2 ▲/▼を押して設定をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

3 設定値を選択して OK ボタンを押します。

4 終了するには Menu（メニュー）ボタンを押します。

設定	アイコン	設定値／内容
画像サイズ 画像の解像度を選択します。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。**	★	**5.0 MP**（出荷時設定）**—** 50 × 75 cm までのプリントに適しています。最高の解像度が適用され、ファイルサイズは最も大きくなります。 **4.4 MP（3:2）—** トリミングなしの 10 × 15 cm のプリントに適しています。50 × 75 cm までのプリントにも適しています。 **4.0 MP —** 50 × 75 cm までのプリントに適しています。中程度の解像度が適用され、ファイルサイズは小さくなります。 **3.1 MP —** 28 × 36 cm までのプリントに適しています。中程度の解像度が適用され、ファイルサイズは小さくなります。 **1.8 MP —** 10 × 15 cm のプリントに適しています。E メール、インターネット、画面での表示、または保管場所を節約することができます。
動画サイズ 動画の解像度を選択します。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。**	★	**640** × **480 —** 解像度が高くなり、ファイルサイズが大きくなります。動画は 640 × 480 の大きさ（VGA）で表示されます。 **320** × **240 —** 解像度が低くなり、ファイルサイズが小さくなります。動画は 320 × 240 の大きさ（QVGA）で表示されます。

設定	アイコン	設定値／内容
ホワイトバランス ライティング条件を選択します。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。**		**オート（出荷時設定）—** ホワイトバランスを自動的に補正します。一般的な撮影に適しています。 **昼光 —** 自然光の画像を撮影します。 **白熱灯 —** 屋内の電球のオレンジ色の光を補正します。屋内の白熱灯またはハロゲンライトの下でフラッシュを使わずに撮影する場合に適しています。 **蛍光灯 —** 蛍光灯の緑色の光を補正します。屋内の蛍光灯の下でフラッシュを使わずに撮影する場合に適しています。 **晴天日陰 —** 自然光を利用した日陰での撮影に使用します。 PASM モードでのみ使用可能です。
測光方式 シーンの特定の領域で光のレベルを測定します。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。**		**マルチ測光（出荷時設定）—** 画像全体のライティング条件を測定し、画像に最適な露出に設定します。一般的な撮影に適しています。 **中央重点測光 —** ビューファインダーの中央に配置された被写体のライティング条件を測定します。逆光を受けている被写体に適しています。 **スポット測光 —** 中央重点測光に似ていますが、ビューファインダーの中央に配置された被写体の小さな領域を中心として測定される点が異なります 画像内の特定の領域の露出を正確に設定する必要がある場合に適しています。 PASM モードでのみ使用可能です。

設定	アイコン	設定値／内容
オートフォーカス 大きな領域または密集した領域に焦点を合わせます。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。**	[ ]	**マルチ AF（出荷時設定）—** 3 つのゾーンを測定して中間的な焦点を設定します。一般的な撮影に適しています。 **センター AF —** 撮影領域の中央を測定して焦点を設定します。画像内の特定の領域に正確に焦点を合わせる必要がある場合に適しています。 **注：** 遠景モードを使用する場合に高品質の画像を撮影するには、カメラをマルチ AF に設定します。 PASM モードでのみ使用可能です。
AF コントロール オートフォーカス設定を選択します。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。**	AF))	**コンティニュアス AF（出荷時設定）—** TTL（Through The Lens）**AF** を使用します。カメラの焦点は常に合っているので、シャッターボタンを半分押した状態で焦点を合わせる必要はありません。 **シングル AF** AF) **—** シャッターボタンを半分押した状態で、**TTL-AF** を使用し焦点を合わせます。
カラーモード 色調を選択します。 **この設定は、モードダイヤルを回すか、カメラをオフにするまで有効です。**	BW	**ヴィヴィッドカラー** **ナチュラルカラー（出荷時設定）** **シックカラー** **白黒** **セピア —** 赤みがかった茶色のアンティークな雰囲気の画像を撮影します。 **注：** EasyShare ソフトウェアを使用して、カラーの画像を白黒やセピアに変更することもできます。 動画モードでは使用できません。

設定	アイコン	設定値／内容
シャープネス 画像のシャープネスを制御します。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。**		**シャープ** **ノーマル（出荷時設定）** **ソフト** PASM モードでのみ使用可能です。
出荷時設定に戻す 撮影の全設定を**出荷時設定**に**戻し**ます。		P、A、S、M モードの設定を**出荷時設定**に**戻し**ます。 PASM モードでのみ使用可能です。
アルバム設定 アルバムの名前を選択します。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。動画と画像にそれぞれ別のアルバム設定を適用することができます。**		[オン] または [オフ]。 画像または動画を撮影する前にアルバム名を選択します。撮影したすべての画像または動画にそのアルバム名が指定（タグ付け）されます。37 ページを参照してください。
画像保管場所 画像と動画の保管場所を選択します。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。**		**オート（出荷時設定）**— カメラにカードが装着されている場合はカードを使用します。カードが装着されていない場合は内蔵メモリーを使用します。 **内蔵メモリー** — カードが装着されている場合でも常に内蔵メモリーを使用します。
設定メニュー その他の設定を選択します。		カメラのカスタマイズを参照してください。

カメラのカスタマイズ

［設定］を使用してカメラの設定をカスタマイズします。

1 任意のモードで Menu（メニュー）ボタンを押します。

2 ▲/▼ を押して［設定］ をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

3 ▲/▼ を押して変更する設定をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

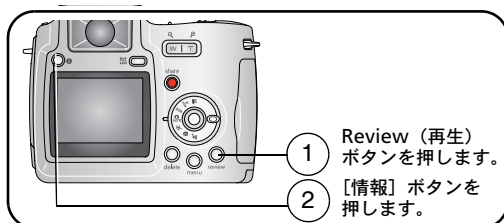
4 設定値を選択して OK ボタンを押します。

5 終了するには Menu（メニュー）ボタンを押します。

設定	アイコン	設定値／内容
前のメニューに戻ります。		
クイックビュー クイックビューのデフォルトをオンまたはオフに変更します。詳しくは6 ページを参照してください。		**オン** **オフ（出荷時設定）**
デジタルズーム 使用するデジタルズームを選択します。		**連続 —** 光学ズームからデジタルズームへの移行時に一時停止しません。 **一時停止（出荷時設定）—** 10 倍光学ズームまで達したらいったんズームボタンを離して、もう一度押すとデジタルズームが開始されます。 **なし —** デジタルズームは使用できません。
プリント警告		**一時停止（出荷時設定）—** デジタルズームの使用中にズームインジケータ上の青色のスライダが一時停止したら、いったんズームレバーを離してもう一度押す必要があります。画質が 10 × 15 cm のプリントで適切な画質を得られる限度に達すると、スライダが赤色に変わります。 **なし —** 一時停止しません。

設定	アイコン	設定値／内容
サウンドテーマ		**シャッターのみ（出荷時設定）** **デフォルト** **クラシック** **ジャズ** **SF**
システム音設定		**オフ** **低（出荷時設定）** **中** **シャープ**
電源自動オフ 何も操作がなかった場合に、カメラの電源をオフにするまでの待機時間を選択します。		**10 分（出荷時設定）** **5 分** **3 分** **1 分**
モードテキスト モードの切り替え時にモードテキストを表示します。		**オン（出荷時設定）** **オフ**
日付／時刻		3 ページを参照してください。
ビデオ出力 カメラ、テレビなどの外部の機器に接続できるように、地域の設定を選択します。		**NTSC（出荷時設定）—** 北米と日本で使用される最も一般的な形式です。 **PAL —** ヨーロッパと中国で使用されます。
縦横補正 上下が正しく表示されるように画像の向きを設定します。		**オン（出荷時設定）** **オフ**
日付写し込み 画像に日付を表示します。		日付写し込みのオン／オフや日付の表示形式を選択します（出荷時設定は［オフ］です）。

設定	アイコン	設定値／内容
動画の日付表示 動画の再生の最初に日付／時刻を表示します。		**オン（出荷時設定） –** 日付表示形式を選択します。 **オフ**
言語		3 ページを参照してください。
フォーマット **注意：** **フォーマットを行うと、保護されているものを含むすべての画像と動画が削除されます。フォーマット中にカードを取り出すと、カードが破損する場合があります。**		**メモリーカード —** カードの内容をすべて削除し、カードをフォーマットします。 **やめる —** 変更せずに終了します。 **内蔵メモリー —** E メールアドレス、アルバム名、お気に入りを含む内蔵メモリーの内容をすべて削除し、内蔵メモリーをフォーマットします。
カメラ情報 カメラの情報を表示します。		

画像情報／動画情報の表示

再生モードを終了するには Review（再生）ボタンを押します。

画像と動画のコピー

画像や動画をカードから内蔵メモリーにコピーしたり、内蔵メモリーからカードにコピーすることができます。

コピーする前の確認事項

- カードがカメラに装着されていることを確認します。
- カメラの画像保管場所が、**コピー元**の場所に設定されていることを確認します。「画像保管場所」(31 ページ) を参照してください。

画像または動画をコピーする方法

1 Review（再生）ボタンを押し、Menu（メニュー）ボタンを押します。

2 ▲/▼を押して［コピー］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

3 ▲/▼を押して次のオプションをハイライト表示します。

［この画像］または［この動画］— 現在の画像または動画をコピーします。

［終了］— Review（再生）メニューに戻ります。

［全て］— すべての画像と動画を選択した保管場所から他の場所にコピーします。

4 OK ボタンを押します。

注： 画像と動画は移動ではなくコピーされます。コピーした後に画像と動画を元の場所から削除するには、それらを削除します（11 ページを参照）。

プリント、E メール、またはお気に入り用に行った指定や、保護の設定はコピーされません。画像または動画に保護の設定を適用する方法については、12 ページ**を参照してください。**

露出補正の調整

露出補正を使用して、画像の明るさを調整します。

1 任意の撮影モードでジョイスティック▲を動かします。

露出補正情報は、カメラの液晶モニターまたは EVF に表示されます。

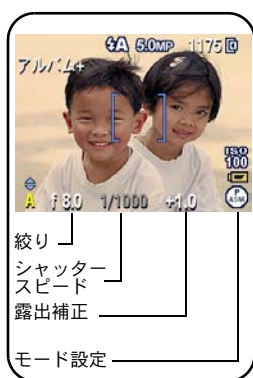
2 画像を明るくするにはジョイスティック▲を動かします。
画像を暗くするにはジョイスティック▼を動かします。

この設定は、設定を変更するか、カメラをオフにするまで有効です。

P、A、S、Mモード

P、A、S、Mモードで変更された設定は、それらのモードのいずれかで撮影された画像にのみ適用されます。

たとえば、P、A、S、Mモードでカラーモードをセピアに変更しても、オートおよびシーンモードでは**出荷時設定**のカラー設定が維持されます。

注： P、A、S、Mモードのフラッシュなどの設定は、モードを変更したりカメラの電源をオフにしても、維持されます。P、A、S、Mモードの設定を**出荷時設定**に**戻す**には、[**出荷時設定に戻す**] を使用します（31ページを参照)。

絞り－（またはF値）被写界深度を決定するレンズ開口部のサイズを制御します。F2.8などの小さいF値は、レンズ開口部が大きいことを示します。F8などの大きいF値は、レンズ開口部が小さいことを示します。

F値を大きくすると、被写体全体がシャープになります。風景や明るい場所での撮影に適しています。小さいF値は、ポートレートや暗い場所での撮影に適しています。絞り値を最大または最小にして光学ズームを使用すると、何らかの影響を受ける場合があります。

シャッタースピード－シャッターを開いたままにしておく時間を制御します。手ぶれを示すアイコンはシャッタースピードが遅いことを警告するものです（シャッタースピードが遅い場合は三脚を使用してください)。

露出補正－露出を手動で調整します。逆光での撮影や標準以外のシーンの撮影に適しています。画像が明るすぎる場合は設定値を低く、暗すぎる場合は設定値を高くしてください。

P、A、S、M モード設定の変更

PASM モードは、F 値、シャッタースピード、および露出補正を制御します。その他の設定は Menu（メニュー）ボタンで制御します。

1 モードダイヤルを回して PASM の位置にします。

   モードオプションが表示されます。

2 ジョイスティック ▲/▼ を動かして P、A、S、または M を選択します。

3 ▲/▼ または ◀/▶ を押して次の操作を行います。
   - 有効な設定内を移動します。
   - 設定を開きます。
   - 設定を変更します。

4 Menu（メニュー）ボタンを押してその他の設定を変更します（28 ページを参照）。

5 画像を撮影します。

アルバム名の事前設定

アルバム設定（静止画または動画）機能を使うと、画像または動画を撮影する前にアルバム名を選択することができます。撮影したすべての画像または動画にそのアルバム名が指定（タグ付け）されます。

1. コンピュータでの操作

Kodak EasyShare ソフトウェア（V**4.04以上**、13 ページを参照）を使用して、コンピュータ上でアルバム名を作成します。次にカメラをコンピュータに接続したときに、最大 32 個のアルバム名をアルバム名のリストにコピーできます。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。

2. カメラでの操作

1 任意のモードで Menu（メニュー）ボタンを押します。

2 ▲/▼ を押して［アルバム設定］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

3 ▲/▼を押してアルバム名をハイライト表示し、OK ボタンを押します。手順を繰り返して、画像または動画のアルバムを指定します。

選択したアルバムにはチェックマークが付きます。

4 アルバムの選択を解除するには、アルバム名をハイライト表示して OK ボタンを押します。すべてのアルバムの選択を解除するには、［指定の取り消し］を選択します。

5 ［終了］をハイライト表示して OK ボタンを押します。

選択した内容が保存されます。カメラの液晶モニターをオンにしている場合は、アルバムの選択状況が画面に表示されます。アルバム名の後にプラス（+）記号が付いている場合は、複数のアルバムが選択されていることを示します。

6 Menu（メニュー）ボタンを押してメニューを終了します。

3. コンピュータへの転送

指定した（タグ付けされた）画像や動画をコンピュータに転送すると、Kodak EasyShare ソフトウェアによって画像が開かれ、適切なアルバムに分類されます。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。

画像または動画のアルバムの指定

再生モードでアルバム機能を使用すると、カメラ内の画像や動画のアルバム名を指定（タグ付け）することができます。

1. コンピュータでの操作

Kodak EasyShare ソフトウェアを使用して、コンピュータ上でアルバム名を作成し、最大32個のアルバム名をカメラの内蔵メモリーにコピーできます。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。

2. カメラでの操作

1 Review（再生）ボタンを押し、画像または動画を選択します。

2 Menu（メニュー）ボタンを押します

3 ▲/▼を押して［アルバム］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

4 ▲/▼を押してアルバムフォルダをハイライト表示し、OK ボタンを押します。

同じアルバムに他の画像を追加するには、◀/▶を押して画像を**選択**します。追加する画像が表示されたら OK ボタンを押します。

複数のアルバムに画像を追加するには、各アルバムについて手順4を繰り返します。

画像の横にアルバム名が表示されます。アルバム名の後にプラス（+）記号が付いている場合は、複数のアルバムに画像が追加されていることを示します。

アルバムの選択を解除するには、アルバム名をハイライト表示してOKボタンを押します。すべてのアルバムの選択を解除するには、［指定の取り消し］を選択します。

3. コンピュータへの転送

指定した（タグ付けされた）画像や動画をコンピュータに転送すると、Kodak EasyShareソフトウェアによって画像や動画が開かれ、適切なアルバムフォルダに分類されます。詳しくは、Kodak EasyShareソフトウェアのヘルプを参照してください。

画像の共有

Share（シェア／共有）ボタンを押して画像や動画の指定を行います。

画像や動画をコンピュータに転送すると共有することができます。

	画像	動画
プリント指定（40ページ）	✔	
Eメール指定（40ページ）	✔	✔
お気に入り指定（42ページ）コンピュータ上での整理とカメラでの共有に便利です	✔	✔

画像や動画を指定できるタイミング

次のタイミングで、Share（シェア／共有）ボタンを押して画像や動画を指定できます。

- 常時 （最後に撮影した画像または動画が表示されます）。
- 画像や動画の撮影直後のクイックビュー時（6ページを参照）。
- Review（再生）ボタンを押した後（10ページを参照）。

プリントする画像の指定

1 Share（シェア／共有）ボタンを押します。◀/▶ を押して画像を選択します。

2 ▲/▼ を押して［プリント指定］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

3 ▲/▼ を押してプリント数（0 ～ 99）を選択します。0 を選択すると、その画像の**指定**は削除されます。

画面にプリントアイコン が表示されます。出荷時設定は 1 枚です。

4 ◀/▶ を押して
画像を選択します。プリント数をそのままにするか、▲/▼ を押して変更します。必要なプリント数が画像に適用されるまでこの手順を繰り返します。

5 OK ボタンを押します。Share（シェア／共有）ボタンを押してメニューを終了します。

* 保管場所のすべての画像**を指定する**には、［全てプリント］をハイライト表示して OK ボタンを押してから、プリント数を指定します。［全てプリント］はクイックビューでは使用できません。保管場所内のすべての画像からプリント**指定**を削除するには、［全て取り消し］をハイライト表示して、OK ボタンを押します。［全て取り消し］はクイックビューでは使用できません。

指定された画像のプリント

指定された画像をコンピュータに転送すると、Kodak EasyShare ソフトウェアのプリント画面が表示されます。プリントについては、Kodak EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

コンピュータ、プリンタードック、PictBridge 対応プリンター、カードからのプリントについては、15 ページを参照してください。

注： 10 × 15 cm のプリントで最高の画質を得るためには、カメラを［最高画質（3:2）］に設定します。28 ページを参照してください。

E メールで送信する画像と動画の指定

1. コンピュータでの操作

Kodak EasyShare ソフトウェアを使用して、コンピュータ上で E メール用のアドレス帳を作成します。最大 32 個の E メールアドレスをカメラの内蔵メモリにコピーします。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

2. カメラでの画像や動画の指定

1 Share（シェア／共有）ボタンを押します。◀/▶を押して画像や動画を選択します。

2 ▲/▼を押して［E メール指定］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

画面に E メールアイコンが表示されます。

3 ▲/▼を押して E メールアドレスをハイライト表示し、OK ボタンを押します。

同じアドレスを使用して他の画像や動画**を指定する**には、◀/▶**を**押して**選択**します。該当する画像が表示されたら OK ボタンを押します。

画像や動画を複数のアドレスに送信するには、アドレスごとに手順 3 を繰り返します。

選択したアルバムにはチェックマークが付きます。

4 選択を解除するには、チェックマークの付いたアドレスをハイライト表示して OK ボタンを押します。すべての E メールアドレスの選択を解除するには、［指定の取り消し］をハイライト表示します。

5 ▲/▼を押して［終了］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

画面に E メールアイコンが表示されます。

6 Share（シェア／共有）ボタンを押してメニューを終了します。

3. 転送および E メール

指定された画像や動画をコンピュータに転送すると、E メール画面が表示され、指定したアドレスに画像や動画を送信することができます。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

お気に入りの画像の指定

お気に入りの画像をカメラの内蔵メモリー内のお気に入りセクションに保存すると、友人や家族と共有することができます。

注： カメラからコンピュータに画像を転送する場合、お気に入りを含むすべての画像はフルサイズでコンピュータに保存されます。元の画像よりサイズの小さいお気に入りの画像はカメラに読み込まれ、画像を共有して楽しむことができます。

お気に入りの画像は次の4つの手順で簡単に共有できます。

1. 画像を撮影します。 	
2. お気に入りとして画像を指定します。 share	**1** Share（シェア／共有）ボタンを押します。◀/▶を押して画像を選択します。 **2** ▲/▼を押して［お気に入り指定］♥をハイライト表示し、OKボタンを押します。 **画面にお気に入りアイコン♥が表示されます。指定を削除するにはもう一度OKボタンを押します。** Share（シェア／共有）ボタンを押してメニューを終了します。
3. 画像をコンピュータに転送します。	**1** すべての機能を利用するには、このカメラに付属のEasyShareソフトウェアをインストールして使用してください（13ページを参照）。 **2** USBケーブル（15ページを参照）またはEasyShareドックを使用して、カメラをコンピュータに接続します。 **初めて画像を転送する場合は、ソフトウェアウィザードが起動され、お気に入りの画像を選択することができます。この操作によって、画像がコンピュータに転送されます。元の画像よりサイズの小さいお気に入りの画像は、カメラの内蔵メモリーのお気に入りセクションに読み込まれます。**

4. カメラでお気に入りを表示します。	1 電源／お気に入りスイッチを動かしてお気に入りを**選択**します。 2 ◀/▶ を押してお気に入りを**選択**します。

注： カメラに保管できるお気に入りの数には制限があります。EasyShare ソフトウェアの［カメラのお気に入り］を使用して、カメラのお気に入りセクションのサイズをカスタマイズします。お気に入りとして**指定**された動画は、EasyShare ソフトウェアの［お気に入り］フォルダに残ります。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

お気に入りの再生設定の変更

お気に入りモードで Menu（メニュー）ボタンを押すと、オプション設定が表示されます。

	スライドショー（21 ページ）		画像情報（34 ページ）
	インデックス（11 ページ）		すべてのお気に入りを消去（「カメラからのすべてのお気に入りの消去」（43 ページ））
			設定メニュー（31 ページ）

注： 最高画質（3:2）で撮影された画像は、3:2 の縦横比で表示され、液晶モニターの上部**が黒く**表示されます。（「画像サイズ」（28 ページ）を参照）。

カメラからのすべてのお気に入りの消去

1 電源／お気に入りスイッチを動かしてお気に入りを**選択**します。

2 Menu（メニュー）ボタンを押します

3 をハイライト表示して OK ボタンを押します。

内蔵メモリーのお気に入りセクションに保管されているすべての画像が消去されます。お気に入りは、次回画像をコンピュータに転送したときに復元されます。

4 Menu（メニュー）ボタンを押してメニューを終了します。

お気に入りをカメラに転送しないようにする

1 Kodak EasyShare ソフトウェアを起動します。［マイコレクション］タブをクリックします。
2 アルバムビューに進みます。
3 カメラの［カメラのお気に入りアルバム］をクリックします。
4 ［アルバムの消去］をクリックします。

次回画像をカメラからコンピュータに転送するときは、カメラのお気に入りウィザード／アシスタントを使用して、カメラのお気に入りアルバムを再作成するか、カメラのお気に入り機能をオフにします。

お気に入りのプリントと E メールでの送信

1 電源／お気に入りスイッチを動かしてお気に入り を**選択**します。◀/▶ を押して画像を選択します。
2 Share（シェア／共有）ボタンを押します。
3 ［プリント指定］ または ［E メール指定］ をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

注： このカメラで撮影したお気に入りは、10 × 15 cm までのプリントに適しています（本カメラ以外から取り込んだものは除く）。

5 トラブルシューティング（こんなときは？）

カメラに関して

現象	解決方法（以下のいずれかの方法を試してください）
カメラの電源がオンにならない	■ 電池を取り外して、電池の種類が正しいことを確認し、再度装着します。 ■ 新しい電池、または充電済みの電池を装着してください。 ■ カメラを Kodak 3V AC アダプター（別売）に接続して、もう一度やり直してみてください。電池について詳しくは 60 ページを参照してください。
カメラの電源がオフにならず、レンズが引っ込まない	
カメラのボタンとコントローラが機能しない	
カメラの電源をオンにしてもレンズが前に出てこない、または引っ込まない	■ カメラの電池が充電されていることを確認してください。 ■ カメラの電源をいったんオフにしてからもう一度オンにしてください（お気に入りモードでは、レンズは前に出ません）。 ■ 問題が解決しない場合は、Web サイトを参照してください（50 ページ）。
EVF ／液晶モニターが真っ暗になっているかオンにならない	■ レンズキャップを取り外してください。 ■ EVF ／ LCD ボタンを押して、画面を切り替えてください。
再生モードで、画像の代わりに青い画面または黒い画面が表示される	■ 画像をコンピュータに転送してください。 ■ **すべての**画像をコンピュータに転送してください（13 ページ）。 ■ もう一度画像を撮影します。問題が解決しない場合は、内蔵メモリーまたはその他のメモリーカードを使用してみてください。

現象	解決方法（以下のいずれかの方法を試してください）
画像を撮影しても残り枚数が減らない	■ そのまま撮影を続けてください。カメラは正常に動作しています。 （カメラでは、各画像の撮影後に、画像サイズと内容に基づいた残りの撮影可能枚数が概算されます。）
画像の向きが正しくない	■ 縦横補正をオンにしてください（33 ページ）。
フラッシュが発光しない	■ フラッシュユニットを開けてください（9 ページ）。 ■ フラッシュの設定を確認して、必要な場合は変更してください（23 ページ）。 **注：** フラッシュが発光しないモードもあります（23 ページ）。
画像保管場所がほとんどまたは完全にいっぱいである	■ 画像をコンピュータに転送してください（13 ページ）。 ■ カードから画像を削除するか、新しいカードを装着してください（11 ページ）。 ■ 画像保管場所を内蔵メモリーに変更してください（31 ページ）。
電池の寿命がすぐに切れる	■ 装着されている電池の種類が適切であることを確認してください（60 ページ）。 ■ 電池をカメラに装着する前に、きれいな乾いた布で接触部分を拭いてください。60 ページを参照してください。 ■ 新しい電池、または充電済みの電池を装着してください（2 ページ）。
画像を撮影できない	■ カメラの電源をいったんオフにしてからもう一度オンにしてください カメラがお気に入りモードになっていないことを確認してください。 ■ シャッターボタンを完全に押し下げてください（5 ページ）。 ■ 新しい電池、または充電済みの電池を装着してください（2 ページ）。 ■ AF ／ AE インジケータが緑色に変わってから次の写真を撮影してください。 ■ メモリーがいっぱいになった 画像をコンピュータに転送する（13 ページ）、画像を削除する（11 ページ）、画像保管場所を変更する、別のカードを挿入する、のいずれかを実行してください。

現象	解決方法（以下のいずれかの方法を試してください）
EVF／液晶モニターにエラーメッセージが表示される	■ カメラの電源をいったんオフにしてからもう一度オンにしてください。 ■ カメラからメモリーカードを取り外してください。 ■ 電池を取り外し、きれいな乾いた布で接触部分を拭いてください（60 ページ）。 ■ 新しい電池、または充電済みの電池を装着してください（2 ページ）。 ■ その他の故障については、カスタマーサポートに問い合わせてください（50 ページ）。
メモリーカードが認識されない、またはメモリーカードを挿入するとカメラがまったく動作しなくなる	■ カードが壊れている可能性があります。カメラに挿入されているカードをフォーマットしてください（34 ページ）。 ■ 別のメモリーカードを使用してください。

コンピュータ／接続に関して

現象	解決方法（以下のいずれかの方法を試してください）
コンピュータがカメラと通信しない	■ 充電済み電池を装着してください（2 ページ）。 ■ カメラの電源をオンにします。 ■ 適切な USB ケーブルがカメラとコンピュータポートに接続されていることを確認してください（15 ページ）。（EasyShare ドックを使用している場合は、すべてのケーブル接続を確認してください。カメラがドックにしっかりとセットされていることを確認してください。 ■ EasyShare ソフトウェアがインストールされていることを確認してください（13 ページ）。
画像がコンピュータに転送されない	■ EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。
スライドショーが外部ビデオ装置で実行されない	■ カメラのビデオ出力設定を調節してください（NTSC または PAL、33 ページ）。 ■ 外部装置の設定が正しいことを確認してください（外部装置の取扱説明書を参照）。

画質に関して

現象	解決方法（以下のいずれかの方法を試してください）
画像が暗すぎるか、露出が不足している	■ 適度な明るさの場所にカメラを移動してください。 ■ 強制発光（23 ページ）を使用するか、被写体を後ろに光がない位置に移動してください。 ■ 被写体がフラッシュの有効範囲内に入るように移動してください（9 ページ）。 ■ 露出と焦点を自動的に設定するには、シャッターボタンを**半分押した状態**にします。AF／AE インジケータが緑色に変わったら、シャッターボタンを完全に押し下げて撮影します。 ■ 露出補正を調整してください（35 ページ）。
画像が明るすぎる	■ 光の弱い場所にカメラを移動してください。 ■ フラッシュをオフにしてください（23 ページ）。 ■ 被写体がフラッシュの有効範囲内に入るように移動してください（9 ページ）。 ■ 露出と焦点を自動的に設定するには、シャッターボタンを**半分押した状態**にします。AF／AE インジケータが緑色に変わったら、シャッターボタンを**完全に押し下げて**撮影します。 ■ P モードを使用して露出補正を調整します。
画像が鮮明でない	■ 露出と焦点を自動的に設定するには、シャッターボタンを**半分押した状態**にします。AF／AE インジケータが緑色に変わったら、シャッターボタンを**完全に押し下げて**撮影します。 ■ レンズを拭いてください（61 ページ）。 ■ 被写体から 70 cm 以上離れている場合は、カメラがマクロモードになっていないことを確認してください。 ■ 特に、ズームを高倍率に設定している場合や光の弱い場所では、安定した平らな場所にカメラを置くか、三脚を使用します。

ダイレクトプリント（PictBridge）に関して

現象	解決方法
目的の画像が見つからない	■ カメラの電源をオンにします。カメラがお気に入りモードになっていないことを確認してください。 ■ ダイレクトプリントメニューを使用して、画像保管場所を変更してください。
ダイレクトプリントメニュー表示がオフになる	メニューを再表示するには任意のボタンを押します。
画像をプリントできない	■ カメラとプリンターの接続を確認してください（13 ページ）。 ■ プリンターとカメラの電源を確認してください（16 ページ）。
カメラまたはプリンターにエラーメッセージが表示される	指示に従って問題を解決してください。

6 サポート情報

役に立つリンク集

カメラ

製品に関するサポート情報 （FAQ、トラブルシューティング情報、 修理の依頼など）	www.kodak.co.jp/go/service
最新のカメラ用ファームウェアと ソフトウェアのダウンロード	www.kodak.co.jp/go/service

ソフトウェア

EasyShare ソフトウェアに関する情報	www.kodak.co.jp （または EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください）

その他

その他のカメラ、ソフトウェア、 アクセサリーなどに関するサポート情報	www.kodak.co.jp
Kodak EasyShare プリンタードックに 関する情報	www.kodak.co.jp
カメラのユーザー登録	www.kodak.co.jp/go/register

電話によるカスタマーサポート

ソフトウェアまたはカメラの操作に関するご質問は、カスタマーサポート担当者にお問い合わせください。

電話をかける前に

カメラ、カメラドック、またはプリンタードックをコンピュータに接続しておいてください。次の情報を用意して、コンピュータのそばから電話をかけてください。

- コンピュータのモデル
- オペレーティングシステム
- プロセッサータイプおよび速度（MHz）
- メモリー容量（MB）
- ハードディスクの空き容量
- カメラのシリアル番号
- Kodak EasyShare ソフトウェアのバージョン
- 表示されたエラーメッセージ

オーストラリア	1800 147 701	オランダ	020 346 9372
オーストリア	0179 567 357	ニュージーランド	0800 440 786
ベルギー	02 713 14 45	ノルウェー	23 16 21 33
ブラジル	0800 150000	フィリピン	1 800 1 888 9600
カナダ	1 800 465 6325	ポルトガル	021 415 4125
中国	800 820 6027	シンガポール	800 6363 036
デンマーク	3 848 71 30	スペイン	91 749 76 53
アイルランド	01 407 3054	スウェーデン	08 587 704 21
フィンランド	0800 1 17056	スイス	01 838 53 51
フランス	01 55 1740 77	台湾	0800 096 868
ドイツ	069 5007 0035	タイ	001 800 631 0017
ギリシア	00800 441 25605	英国	0870 243 0270
香港	800 901 514	米国	1 800 235 6325
インド	91 22 617 5823	米国以外の地域	585 726 7260
イタリア	02 696 33452	国際有料電話番号	+44 131 458 6714
日本	03 5540 9002	国際有料ファックス番号	+44 131 458 6962
韓国	00798 631 0024		

最新の一覧については次のサイトをご覧ください。
www.kodak.com/US/en/digital/contacts/DAIInternationalContacts.shtml

7 付録

カメラの仕様

詳細な仕様については、www.kodak.co.jp を参照してください。

Kodak EasyShare Z740 ズームデジタルカメラ	
CCD（電荷結合素子）	
CCD	1/2.5 型 CCD、縦横比 4:3
出力画像サイズ	5.0 MP： 2576 × 1932 画素 4.4 MP（3:2）： 2576 × 1716 画素 4.0 MP： 2304 × 1728 画素 3.1 MP： 2048 × 1536 画素 1.8 MP： 1152 × 1164 画素
表示	
液晶ディスプレイ	1.8 型ハイブリッド液晶モニター、 640 × 240（13.4 万画素）
EVF (電子ビュー ファインダー)	液晶モニターと EVF を同時に使用することは できません。0.2 型 20.1 万画素
プレビュー (液晶モニター／ EVF)	フレーム速度：27 fps
レンズ	
撮影レンズ	10 倍光学ズーム、非球面全ガラス Retinar レンズ、 F2.8 ～ 3.7（35 mm 換算： 38-380 mm）
アクセサリ レンズの溝	カメラ内蔵
レンズの保護	レンズキャップ
デジタルズーム	1 ～ 5 倍（0.2 倍刻み） 光学ズームとの組合せで最大 50 倍 (動画撮影ではサポートされていません)。

Kodak EasyShare Z740 ズームデジタルカメラ	
フォーカス システム	TTL-AF：マルチ AF、**センター**AF **操作範囲**： 0.6 m ～無限遠（広角の場合） 2 m ～無限遠（望遠の場合） 0.12 ～ 0.7 m（広角マクロの場合） 1.2 ～ 2.1 m（望遠マクロの場合）
測光	
測光方式	TTL-AE マルチ測光、スポット測光、中央重点測光（PASM モードでのみ有効）
露出補正	+/-2.0 EV（0.5 EV ステップ）
シャッター スピード	オート：1/8 ～ 1/1700 秒 シャッター優先：8 ～ 1/1000 秒 マニュアル設定：8 ～ 1/1000 秒
ISO 感度	オート：80 ～ 160 マニュアル設定：80、100、200、400、800 （800 は**1.8MP**の場合のみ使用可能）
フラッシュ	
フラッシュ	ガイド番号 10.6（ISO 100） フォトセンサーを使用したオート発光 操作範囲（ISO 168）：0.6 ～ 4.9 m（広角の場合） 2 ～ 3.7 m（望遠の場合）
フラッシュモード	オート発光、強制発光、赤目軽減、オフ
撮影	
撮影モード	オート、ポートレート、スポーツ、夜景、 **PASM**、動画、14 種類のシーンモード
連写モード	連写（ファースト）：5 枚、連写（ラスト）：4 枚、いずれも 2 コマ／秒（最初の撮影でのみ AE、AF、AWB を実行）
動画撮影	VGA（640 × 480）、13 fps QVGA（320 × 240）、20 fps
画像のファイル フォーマット	静止画：EXIF 2.21（JPEG 圧縮）、ファイル構成 DCF 動画：QuickTime（CODEC MPEG4）

Kodak EasyShare Z740 ズームデジタルカメラ	
画像保管	MMC または SD カード（別売） (SD ロゴは、SD Card Association の商標です)。
内蔵メモリー容量	32 MB 内蔵メモリー
再生	
クイックビュー	カメラ内蔵
動画出力	NTSC または PAL
電源	
CRV3、単三形リチウム電池（× 2)、単三形ニッケル水素電池（× 2)、Kodak ニッケル水素充電式**電池**パック（KAA2HR)、3V AC アダプター	
コンピュータとの通信	
USB 2.0（USB ケーブル、EasyShare カメラドック、プリンタードック経由の PIMA 15740 プロトコル）	
言語	
英語／ドイツ語／スペイン語／フランス語／イタリア語／ポルトガル語／中国語（簡体）／韓国語／日本語	
その他の機能	
PictBridge 対応	カメラ内蔵
セルフタイマー	2 秒または 10 秒
サウンド フィードバック	全てオン、シャッターのみ、全てオフ
ホワイトバランス	オート、昼光、晴天日陰、白熱灯、蛍光灯 (PASM モードでのみ有効)
自動スリープ モード	1、3、5、10 分
カラーモード	カラー、白黒、セピア
日付写し込み	なし、YYYYMMDD、MMDDYYYY、DDMMYYYY
三脚マウント	1/4 **インチ**
サイズ	97.8 × 77.5 × 72.6 mm（電源オフの場合）
重さ	286 g（電池またはカードを装着していない場合）

各モードでのフラッシュの設定

フラッシュは撮影モードに応じてあらかじめ設定されています。

撮影モード		デフォルトの設定	使用可能な設定
AUTO	**オート**	オート発光 *	オート発光、オフ、強制発光、赤目軽減発光
	ポートレート	オート発光 *	オート発光、オフ、強制発光、赤目軽減発光
	スポーツ	オート発光 *	オート発光、オフ、強制発光、赤目軽減発光
PASM	**P、A、S、M**	オート発光 *	オート発光、オフ、強制発光、赤目軽減発光
	夜景	オート発光 *	オート発光、オフ、強制発光、赤目軽減発光
SCN シーンモード			
	チャイルド	オート発光 *	オート発光、オフ、強制発光、赤目軽減発光
	パーティー	赤目軽減発光 *	オート発光、オフ、強制発光、赤目軽減発光
	ビーチ	オート発光 *	オート発光、オフ、強制発光、赤目軽減発光
	フラワー	オフ	オート発光、オフ、強制発光
	花火	オフ	オフ
	スノー	オート発光 *	オート発光、オフ、強制発光、赤目軽減発光
	逆光	強制発光	強制発光
	マクロ	オフ	オート発光、オフ、強制発光
	夜景ポートレート	赤目軽減発光 *	オート発光、オフ、強制発光、赤目軽減発光
	遠景	オフ	オフ

		デフォルトの設定	使用可能な設定
	夜景	オフ	オフ
	マナー / 美術館	オフ	オフ
	書類	オフ	**強制**発光、オフ
	セルフポートレート	赤目軽減発光 *	オート発光、オフ、強制発光、赤目軽減発光
	動画	オフ	オフ
	連写（最初）	オフ	オフ
	連写（最後）	オフ	オフ

* これらのモードでオート発光または赤目軽減発光に変更した場合は、設定を変更するまでデフォルト設定になります。

節電機能

操作しない時間	カメラの動作	オンに戻す方法
1 分	画面がオフになります。	OK ボタンを押します。
10 分、5 分、3 分、1 分（「電源自動オフ」(33 ページ) を参照)。	自動的に電源がオフになります。	**カメラの電源をオフにしてからオンに戻してください。**

保管容量

画像保管容量

ファイルサイズは一定ではありません。またはカードに他のファイルが含まれているかによって変わります。保管可能な画像／動画の枚数／時間は撮影状況によって異なります。

	保管可能枚数				
	5.0 MP	**4.4 MP (3:2)**	**4.0 MP**	**3.1 MP**	**1.8 MP**
16 MB SD/MMC	9	11	12	15	24
32 MB 内蔵メモリー	17	19	21	27	43
32 MB SD/MMC	19	22	24	30	48
64 MB SD/MMC	39	44	49	60	97
128 MB SD/MMC	79	89	98	121	195
256 MB SD/MMC	159	178	196	242	391
512 MB SD/MMC	319	356	392	485	783

動画保管容量

	動画の分数／秒数	
	VGA（640 × 480）	**QVGA（320 × 240）**
16 MB SD/MMC	59 秒	1 分 53 秒
32 MB 内蔵メモリー	1 分 47 秒	3 分 23 秒
32 MB SD/MMC	1 分 52 秒	3 分 46 秒
64 MB SD/MMC	3 分 59 秒	7 分 32 秒
128 MB SD/MMC	7 分 59 秒	15 分 4 秒
256 MB SD/MMC	15 分 58 秒	30 分 8 秒
512 MB SD/MMC	31 分 57 秒	60 分 17 秒

アクセサリー

アイテム	説明	購入先
Kodak **ワイドコンバージョンレンズ 55mm（型番：WCL-55）**	**汎用性の高いレンズを使用することによって、創造性と撮影の幅が広がります。**	購入先 www.kodak.co.jp
Kodak EasyShare Z740 **レンズアダプター**	**市販の** 55 mm **用レンズやフィルターを装着できます。（カメラ本体に付属）**	
Kodak B+W NDフィルター 55mm（型番：ND-55）	ND フィルター **101**は、光量を **1絞り**減少させ**ます。**（透過濃度 **0.3**）フィルター径 55 mm。	
Kodak 3V AC アダプター **（型番：ESAC-3V）**	**デジタルカメラ専用ACアダプターです。電池を長持ちさせます。**	
Kodak 高性能シリーズデジタルカメラ**バック**	おしゃれで丈夫な Kodak EasyShare デジタルカメラ専用**カメラバック**です。	
Kodak ニッケル水素充電式**電池パック（型番：KAA2HR）**	高容量で、繰り返し充電可能です	
Kodak ニッケル水素**充電式電池** 急速充電器 **（型番：K4500）**	**世界各地で使用可能なプラグを装備しています。Kodakニッケル水素充電式電池パックが付属されます。**	

安全に関する重要事項

本製品の使用

- Kodak 製品をご使用になる前に以下の指示をお読みになり、指示に従ってください。安全に関する基本的な注意事項には必ず従ってください。
- Kodak が推奨する付属アクセサリー（AC アダプターなど）以外のアクセサリーを使用すると、火事、感電、または負傷の危険性があります。
- 本製品を航空機内で使用する場合は、航空会社の指示に従ってください。

警告：

本製品は分解しないでください。製品内部にお客様が修理可能な部品はありません。修理については、コダックデジタルサポートセンターにお問い合わせください。本製品を液体、湿気、極度の高温／低温にさらさないでください。Kodak ACアダプターおよび充電器は必ず屋内で使用してください。本ユーザーガイドで指定されている以外の制御、調整、または手順を行った場合、感電や電気的または機械的な危害を招く恐れがあります。

電池の安全な取り扱い

 警告：

電池を取り出した後は冷ましてください。熱くなっている場合があります。

- 電池の製造元が提供する警告および指示をお読みになり、必ず従ってください。
- 本製品での使用が認可されている電池を必ず使用してください。
- 電池は子供の手の届かないところに保管してください。
- 硬貨などの金属に電池が触れないようにしてください。金属に触れると、ショート、放電、または液漏れが発生したり、熱くなったりすることがあります。
- 電池を分解したり、向きを逆にして装着しないでください。また、液体、湿気、火気、極度の高温／低温にさらさないでください。
- 電池を交換するときはすべての電池を同時に交換してください。新しい電池と古い電池を混ぜて使用したり、充電式と充電式でない電池を混ぜて使用しないでください。リチウム電池、ニッケル水素電池、ニッカド電池を混ぜて使用しないでください。化学成分、等級、ブランドの異なる電池を混ぜて使用しないでください。これらの注意事項を守らなかった場合、液漏れが生じる可能性があります。
- 長期間に渡って本製品を使用しない場合は、電池を取り外してください。万一、本製品内で電池が液漏れした場合は、**修理が必要になる場合があります**。
- 万一、電池の液漏れが皮膚に触れた場合は、すぐに水で洗い流し、最寄りの医療機関にご相談ください。

■ 不要になった電池は一般のゴミと一緒に捨てないでください。販売店にお持ちいただくか、コダック守谷物流センターへお送りください。
コダック株式会社守谷物流センターバッテリーリサイクル係
〒302-0106 茨城県守谷市緑 2-27-1
Tel：0297-45-6150

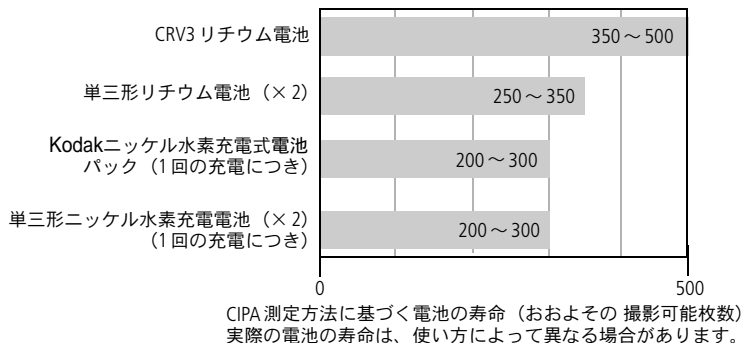
■ 電池の接触部が金属製の物質に触れると、ショート、放電、または液漏れが発生したり、熱くなったりすることがあります。

■ 充電式でない電池は充電しないでください。

電池については、www.kodak.co.jp を参照してください。

電池の寿命

次の Kodak 電池を使用してください（使用可能な電池の種類については、電池カバーにも記載されています）。

CIPA 測定方法に基づく電池の寿命（おおよその 撮影可能枚数）
実際の電池の寿命は、使い方によって異なる場合があります。

アルカリ電池の使用はお勧めできません。適切な電池の寿命を確保し、カメラを正常に動作させるには、上記の交換用電池を使用してください。

電池を長持ちさせる

■ 次の操作を行うと電池が著しく消耗します。必要な場合以外はこれらの操作を行わないようにしてください。

- 画像をカメラの液晶モニターで表示する（10 ページを参照）。
- カメラの液晶モニターをビューファインダーとして使用する（10 ページを参照）。
- フラッシュを必要以上に使用する

- 電池の接触部分に汚れがあると、電池の寿命に影響する場合があります。電池をカメラに装着する前に、きれいな乾いた布で接触部分を拭いてください。
- 気温が 5 ℃以下になると電池の効率が悪くなります。低温の場所でカメラを使う場合は、予備の電池を持参し、冷えないように保管してください。冷たくなって使用できなくなった電池は捨てないでください。室温に戻せば再び使用できる場合があります。

次のアクセサリーについては、www.kodak.co.jp を参照してください。

Kodak EasyShare カメラドック — カメラへの電力の供給、コンピュータへの画像の転送、**および** Kodak **ニッケル水素充電式電池パックの充電**を行います。

Kodak EasyShare プリンタードック — カメラへの電力の供給を行います。コンピュータを使用した（または使用しない） **L サイズ**のプリント、画像の転送、付属の Kodak ニッケル水素充電式**電池パックの充電**を行います。

Kodak 3V AC アダプター — カメラへの電力の供給を行います。

重要： Kodak EasyShare カメラドックまたはプリンタードックに付属の AC アダプターは使用しないでください。

ソフトウェアとファームウェアのアップグレード

Kodak EasyShare ソフトウェア CD に添付されているソフトウェアとカメラのファームウェア（カメラ上で実行されているソフトウェア）の最新バージョンをダウンロードするには、www.kodak.co.jp を参照してください。

その他の手入れとメンテナンス

- 荒天時などでカメラ内部に水が入った場合は、カメラの電源をオフにし、バッテリーとカードを取り出してください。カメラを再び使用する前に、すべての部品を 24 時間以上乾かしてください。
- レンズまたはカメラの液晶モニターの埃や塵を軽く吹いて飛ばします。起毛のない柔らかい布か、化学処理されていないレンズ用ティッシュでそっと拭きます。クリーニング液を使用する場合は、カメラレンズ用のクリーニング液を使用してください。日焼けローションなどの薬品が塗布面につかないように注意してください。

- 国によってはサービス契約があります。詳しくは、Kodak 製品取扱店に問い合わせてください。
- デジタルカメラの廃棄やリサイクル情報については、最寄りの自治体に問い合わせてください。

保証

限定保証

Kodak は、Kodak EasyShare デジタルカメラおよびアクセサリー (電池を除く) が購入日から一年間、素材および製造上に起因する不具合がないことを保証します。

購入日が明記された領収書のオリジナルは保管しておいてください。
保証期間内の修理には、購入日の証明が必要になります。

限定保証の対象

この制限付きの保証は、Kodak デジタルカメラおよびアクセサリーを購入した地域においてのみ有効です。

保証期間中に Kodak EasyShare デジタルカメラおよびアクセサリーが正しく機能しない場合は、ここに記載した条件および制限付きで、それらを修理または交換いたします。この修理サービスには、必要な調整や交換部品に加え、労務費のすべてが含まれます。これらの修理または交換が唯一の保証手段となります。

修理に交換部品を使用する場合、それらの部品は再生品であったり、再製造された部品が含まれている可能性があります。製品全体を交換する必要のある場合は、再生品と交換する可能性もあります。

制限

保証による修理の要請には、購入日が明記された Kodak EasyShare デジタルカメラまたはアクセサリーの領収書のコピーなどの証明が必要になります (領収書のオリジナルは記録として必ず保管しておいてください)。

この保証は、デジタルカメラまたはアクセサリーに使用されている電池には適用されません。Kodak の管理の及ばない状況や、お客様が Kodak EasyShare デジタルカメラおよびアクセサリーのユーザーガイドの操作指示に従わなかったために発生した問題は、この保証の対象外となります。

出荷による損傷、事故、改造、変更、認可されていない修理、誤用、乱用や、互換性のないアクセサリーや機器と併用した場合、Kodakの操作、保守、開梱の指示に従わなかった場合、またはKodak提供の製品（アダプターやケーブル）を使用しなかった場合に生じた故障には、この保証は適用されません。

Kodakは、この製品に対してこれ以外の明示的または黙示的な保証を行いません。法律によって黙示的な保証の除外が無効とされる場合、黙示保証の期間は購入日から一年間とします。

Kodakが負う唯一の責務は交換オプションです。Kodakは、原因にかかわらず、この製品の販売、購入、または使用から生じた特別、必然的または偶発的な損害に対しては一切責任を負いません。特別、必然的、または偶発的な損害（製品の購入§使用、故障のために発生した場合の収入または利益の損失、ダウンタイムの費用、機器が使用できないための損害、代替機器の費用、設備やサービス、顧客のクレームなどを含みますが、この限りではありません）に対する責任は、原因や書面または黙示的な保証の違反にかかわらず、明示的に否認し、これを除外します。

規格との適合

FCC準拠および勧告

 Kodak EasyShare Z740ズームデジタルカメラ

この装置はテストの結果、FCC規制パート15によるクラスBデジタル装置の制限に準拠していることが証明されています。これらの制限は、住宅地区で使用した場合に、有害な電波干渉から適正に保護することを目的としています。

この装置は電波を発生、使用しており、放出する可能性があるため、説明書に従って設置または使用しないと、無線通信を妨害することがあります。ただし、特定の設置条件で電波干渉が起こらないという保証はありません。

この装置がラジオやテレビの受信を妨害している場合は（装置をオフ／オンにして調べます）、次の方法をいくつか試して、問題を修正することをお勧めします。1）受信アンテナの方向や位置を変える、2）装置と受信機の距離を離す、3）受信機を接続している回路とは別の回路の差し込みに装置を接続する、4）ラジオ／テレビの販売店か経験ある技術者に相談する。

準拠に関する責任当事者の明示的な承認なしに変更や修正を行うと、ユーザーは装置を操作する権利を喪失することがあります。製品、指定の追加部品、または製品の取り付けに使用される付属品と一緒にシールドインターフェイスケーブルが提供されている場合、FCC 規制に確実に準拠するためにはそれらを使用する必要があります。

カナダ通信局声明文

通信局クラス B 準拠 — このクラス B デジタル装置は、カナダの ICES-003 に準拠しています。

Observation des normes-Class B — Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

VCCI Class B ITE

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

MPEG-4

消費者が個人的かつ非営利目的で使用する場合を除き、MPEG-4 ビジュアル規格に準拠した、いかなる方法でも本製品を使用することは禁止されています。

索引

と

な

ね

は

ひ

ふ

へ